

# F-REIにおける広域連携の取組

福島国際研究教育機構

# 市町村座談会について

市町村座談会は、研究開発・産業化・人材育成の取組における広域連携体制の構築を図るため、市町村や住民、企業・団体等、多様な主体と対話する場として、福島浜通り地域等の15市町村で実施するもの。

来年度の市町村座談会の在り方については検討中。

## 座談会の概要

- 市町村長のほか、地域で活躍する人材や企業等との直接対話
- 多様なシーズやニーズを把握するための現地視察や意見交換

－座談会のプログラム（例）－

- ・市町村長ほか職員から市町村の現況や課題等のヒアリング、意見交換
- ・農業従事者等も交えての昼食会
- ・自治体内の先進的な企業等を現地視察、意見交換（3～4か所程度）
- ・（F-REIの取組紹介を含めた）市町村内の関係者との座談会

## 次年度以降の座談会（案）

- 15市町村の業務負担を鑑み、個々の座談会は実施しない。
- 新たなシーズやニーズがあれば、個々に対応する。

## 実施日程

### 【実施済み】

6月20日	いわき市
7月 5日	南相馬市
7月27日	葛尾村
8月 9日	浪江町
8月29日	田村市

### 【実施予定】

9月29日	広野町
10月11日	富岡町
10月17日	川内村
10月23日	新地町
11月 9日	飯舘村
11月17日	楡葉町
12月 4日	大熊町
12月19日	相馬市
1月18日	川俣町
1月30日	双葉町

※ 現時点の予定であり、変更になる可能性あり

## 1. いわき市（6月20日）

### ①市との意見交換（出席者：市長、副市長、関係部課長）

- 市の歴史、概要、産業構造などについて市側から説明

### ②昼食会（出席者：農業法人代表者3名（トマト、野菜、畜産））

（出席者の主な発言）

- 選別工程、出荷工程、荷造り工程の機械化・自動化や化石エネルギー高騰によるコスト削減、脱炭素への対応が課題。
- 木質系燃料への代替や植物残渣のエネルギー化、太陽熱の利用、素材そのものが発熱するような発熱材料の開発等の研究が施設園芸農業をはじめ、農業分野の発展に貢献できると考える。
- 出産する牛の管理はスマホで行っている。破水したりするとスマホにメールが届く。ただし、こうしたものは大規模農家向けのため、小さい農家向けのものであればいい。

### ③現地視察

- 農業法人（トマト）、エネルギー関連企業を現地視察。それぞれの代表者等から概要など説明。

### ④座談会（出席者：東日本国際大、福島高専の学生等、商工会議所、産学官連携団体の関係者）

（出席者の主な発言）

- STEAM教育など、若者教育に尽力してほしい（大学生）
- いわき市で大企業に就職したいが、地元が無い。F-REIには、就職先の誘致に取り組んでほしい。（高専生）
- 最近いわゆる「リケジョ」も多くなってきており、F-REIはそういう人の働く場になればと期待（商工会議所）



## 2. 南相馬市（7月5日）

### ①市との意見交換（出席者：市長、副市長、教育長、関係部長）

- ・ 市の歴史、概要、産業構造などについて市側から説明

### ②昼食会（出席者：農業法人代表者3名（水稲、野菜））

（出席者の主な発言）

- ・ スマート農機は効率が良いが値段が高い。遠隔操作で水管理を行っているが、初期のものでトラブルが多く使い勝手が悪い。
- ・ ドローンを入れているが、60歳以上の職員が多く、機械が使いにくい。機械が使えると、自分以外に仕事を任せることができるので便利。

### ③現地視察

- ・ 農業法人（主にブロッコリー）、ワクチンを製造する企業、ロボット関連企業を現地視察。それぞれの代表者等から概要など説明。

### ④座談会（出席者：ロボット関連進出企業とその地元協力企業）

（出席者の主な発言）

- ・ 遠隔操作ロボットが社会に浸透しないのは、遠隔で手作業をすることが難しいからと考える。ロボットハンドと自分の手のように動かすインターフェース（コントローラー）の一体の開発が必要（ロボット開発進出企業）
- ・ F-REIとどのような協力ができるか掴めていない企業が多い。F-REIとは、情報交換を密にして、一緒にやらせていただきたい。（地元協力企業）



### 3. 葛尾村（7月27日）

#### ①村との意見交換（出席者：村長、副村長、教育長、関係課長）

- ・ 村の歴史、概要、産業構造などについて村側から説明

#### ②現地視察

- ・ 酪農家、農業法人（花き）、工場の陸上養殖を行う企業を現地視察。それぞれの代表者等から概要など説明。

#### ③座談会（出席者：まちづくり団体、建設会社、農業法人等の関係者、日本大学工学部の教授）

（出席者の主な発言）

- ・ 少子高齢化で労働力不足であることから、建設分野においても省人化に向けた研究を期待している（建設会社）
- ・ 大学進学を目指すハイレベルな子供たちだけではない教育環境も必要。学力の底上げに繋がるプログラムの作成等、人材育成の取組に期待。（まちづくり団体）
- ・ このままでは日本の農業は潰れてしまうので、農業の儲かる仕組み作りが重要。（農業法人）
- ・ 大学と自治体の連携を継続していく上で人の移動や予算が課題であり、F-REIには新しい仕組みづくりを行ってほしい（大学教授）



#### 4. 浪江町（8月9日）

##### ①町との意見交換（出席者：町長、副町長、関係課長）

- 町の歴史、概要、産業構造などについて町側から説明

##### ②昼食会（出席者：水素実証施設関係企業 4名）

（出席者の主な発言）

- 水素をエネルギーとして利用するためには、ビジネス環境やインフラの整備、関係法令の整備が遅れていることが課題。
- 地方にはまだまだ電柱が残っており、これをパイプラインとして水素の供給網のインフラに活用できれば、コストを抑えることができる。

##### ③現地視察

- 農業法人（花き）、集成材製造施設、コンクリート製品製造企業を現地視察。それぞれの代表者等から概要など説明。

##### ④座談会（出席者：商工会、青年会議所、まちづくり団体、町立学校長）

（出席者の主な発言）

- F-REIの施設を駅と一体化・連携していく中で、住民が気軽に立ち寄れるような憩いの場や交流の場があると有難い。（青年会議所）
- 国内外のことを学べる場、国内外の方と交流できる場になってほしい。また、子どもたちの進路の選択が広がるような場になってほしい。（まちづくり団体）



## 5. 田村市（8月29日）

### ①市との意見交換（出席者：市長、副市長、関係部課長）

- ・ 市の歴史、概要、産業構造などについて市側から説明

### ②昼食会（出席者：農業法人代表者（野菜）1名、若手農業者団体代表者1名）

（出席者の主な発言）

- ・ 賃金等が上昇しており、経営を圧迫しているため、省力化で人を減らすことが急務。

### ③現地視察

- ・ 植物工場、森林組合、ピーマン、ホップ生産農家、バイオマス発電所を現地視察。それぞれの代表者等から概要など説明。

### ④座談会（出席者：農業法人等の関係者、立地企業の代表者、船引高校の教諭と生徒）

（出席者の主な発言）

- ・ 工場のエネルギーを水素にしようとしているが、コストが高いため、F-REIのスキームを活用して仲間づくりをしていきたい。（地元立地企業）
- ・ 生徒たちがF-REIの成果である先端技術に触れることができれば、部活動（ドローン科学探求部）の励みになる。（高校教諭）



# 令和5年度F-REI トップセミナー

福島の創造的復興と発展を中長期的に支える地域の未来を担う若者世代等を対象とした人材育成の取組の一環として、福島県内の大学、高等専門学校、高等学校の学生・生徒を対象に、最先端の科学技術の魅力と可能性等に関し、F-REIトップ陣によるセミナーを行うもの。

## トップセミナーの概要

- 開催時期：令和5年5月～12月
- 講師：山崎光悦理事長ほかF-REIの役員など
- 実施内容：  
以下に関する講義を実施
  - 最先端の科学技術の魅力と可能性
  - 学ぶことの重要性と未来をどう築くか
  - F-REIの役割と将来像 等



## 実施対象

- 実施対象：  
福島県内の大学、高専、浜通り地域等の高等学校

## 実施スケジュール

5月17日	福島大学
5月30日	会津大学
6月13日	相馬高校
6月30日	会津学鳳中学校・高校
7月4日	会津高校
7月13日	小高産業技術高校
8月31日	安積高校
9月12日	ふたば未来学園高校
9月25・26日	福島工業高等専門学校
10月4日	福島高校
	福島県立医科大学
11月7日	東日本国際大学
11月24日	福島大学
12月1日	磐城高校
12月7日	原町高校

# 令和5年度F-REIトップセミナー実績①

## ①福島大学

実施日 5月17日(水)  
講師：理事長 山崎 光悦  
演題：福島大学食農学類の皆さんへ  
～これからどう過ごす？  
大学ライフのススメ～  
受講者：食農学類1年生 約100名  
受講した学生の主な声(感想等)：  
○今から英語を学習したりキャリア形成を意識するなどして、己を磨いていきたいと思った。



## ②会津大学

実施日：5月30日(火)  
講師：理事長 山崎 光悦  
演題：会津大学コンピュータ理工学部 of 皆さんへ  
～これからどう過ごす？大学ライフのススメ～  
受講者：コンピュータ理工学部1年生ほか 約240名  
受講した学生の主な声(感想等)：  
○自分が何をしたいのかを改めて考えて行動しようと思いました。  
○幅広く教養をもった上で専門性をもつことが大切なのだと思います。



## ③相馬高校

実施日：6月13日(火)  
講師：執行役 大和田 祐二  
演題：私の研究とF-REI (エフレイ)  
受講者：2年生 約160名  
受講した学生の主な声(感想等)：  
○先生のお話が分かりやすく、楽しかったです。  
○高校生のうちにできることをたくさん体験したいと思いました。  
○新しい発見がたくさんありました。



## ④会津学鳳中学校・高校

実施日：6月30日(金)  
講師：執行役 大和田 祐二  
演題：私の医学研究とF-REI (エフレイ)  
受講者：中学校3年生、高校全学年 約680名  
受講した学生の主な声(感想等)：  
○今回の講演では学校の授業だけでは聞けない、知れないようなお話が聞けて大変興味深かったです。講師の方からいただいたアドバイスもこれからは活かしていきたいです。



# 令和5年度F-REIトップセミナー実績②

## ⑤会津高校

実施日：7月4日（火）

講師：監事 中西 友子

演題：植物の謎：私の歩んできた道

受講者：2年生 約240名

受講した学生の主な声（感想等）：

○放射線は体に悪いものだとばかり思っていたけれど、使い方で大きく変わることを知った。

○少し内容が難しかった部分もあったが、植物の不思議に少し興味をもてて良かった。



## ⑥小高産業技術高校

実施日：7月13日（木）

講師：監事 森下 信

演題：福島国際研究教育機構  
目指すロボット研究

受講者：2年生 約100名

受講した学生の主な声（感想等）：

○様々な産業についての興味がわき、ロボット研究がさらに進んでほしいと思った。



## ⑦安積高校

実施日：8月31日（木）

講師：執行役 大和田 祐二

演題：私の医学研究とF-REIが目指すもの

受講者：2年生ほか 約40名

受講した学生の主な声（感想等）：

○地元の福島のことであるF-REIについて知る機会をいただけて、とても良かったです。

○とても興味深い講義だった。自分もF-REIという進路も考えてみたいと思った。



## ⑧ふたば未来学園高校

実施日：9月12日（火）

講師：理事長 山崎 光悦

演題：ふたば未来学園高校のみなさんへ  
～未来のリーダーとなるために～

受講者：2年生 約130名

受講した学生の主な声（感想等）：

○とても為になりました。良い大学に行くのではなく、自分に合った大学に行くのが大事と分かりました。



# 自治体・関係機関との連携協力に関する基本合意書の締結

基本合意書（MOU）は、相互の包括的な連携のもと、双方の資源を有効的に活用した協働活動の推進により、福島県浜通り地域の復興及び発展、並びに福島や東北の創造的復興、更には日本創成の牽引に寄与することを目的とするもの。

## 基本合意書の主な内容

- 共同研究等の研究協力
- 研究者等の交流及び人材育成
- 情報交換
- 施設・設備・実証フィールドの相互利用 など



R5.4.1 福島高専



R5.4.5 福島医大



R5.4.15 いわき市



R5.5.17 福島大学



R5.5.29 浪江町



R5.5.30 会津大学



R5.9.1 南相馬市